

## リスタコート施工要領書

### 防滑リスタ

#### 特徴

雨に濡れて滑りやすくなった箇所に滑り止め効果を持たせます

#### 手順

#### 養生

金属面を養生をする。

- ・ 金属面に洗剤等がかからないようにマスキング・養生テープ等で養生する、サビの原因となります。



- ・ 施工しないところはしっかりと養生してください。

資機材の確認を行い、洗浄工程に入る

#### 除塵・洗浄

施工面を洗剤等を用いて洗浄し、汚れを落とす。

- ・ デッキブラシ又は、ポリッシャーに青パッドを付け施工箇所表面の汚れを落とします。
- ・ 油等、防滑リスタの浸透を阻害するものを完全に除去してください。
- ・ 染み、汚れのひどい箇所は洗浄前後に落として下さい。



- ・ 洗剤は市販のものを使用しません。

#### 防滑リスタの塗布

防滑リスタを均等に塗布する。

- ・ 塗布の際は、ローラー若しくは刷毛で厚めに塗布して下さい。
- ・ 原液から3倍薄め（標準使用量5～15㎡/ℓ）事前にテストして下さい
- ・ 使用後の器具・小分けした容器など、防滑リスタが付着した道具類は水でよく洗浄して下さい。
- ・ 容器は金属容器を避けてください、プラスチックかポリ容器を使用ください。



### セット（凸凹形成）

塗布面を約1 時間くらい放置する。

(素材により放置時間が違ってきますので、部分的にテストして時間を決めてください)

- ・ 塗布面に凸凹を形成させる。
- ・ ポリフィルムなどを塗布面に被せることで凸凹形成の時間短縮や、通行可能な状態にすることができます。
- ・ セットを行わなければ、滑り止め効果低下の原因になりますので必ずセットは行って下さい。
- ・ 一定時間が経過したら水洗いを行い。表面に残っている防滑リスタを完全に洗い流してください。



効果の確認を行います。

確認は作業者自身の足で、作業範囲全てをチェックします。

防滑効果が不十分な時は、再度防滑リスタの塗布からやり直してください。

### 中和、水洗い

中和剤（石灰水、アルカリ床用洗剤）をジョロでまき、中和させてから、水をタッブリかけながら防滑リスタをきれいに洗い流してください。

- ・ 施工面をきれいに水で洗い流さないと、つやボケ、汚れやすくなる等のトラブルになりますので注意してください。



### 竣工確認（お客様立会い）

作業完了後、お客様に立ち会っていただき、対象箇所の防滑効果と、美観の変化の度合いを確認

していただき、OKであれば引渡し、完了となります。



## 補足説明

### 天候の注意

防滑リスタは、凸凹形成前に水分に触れると、滑り止めの性能が低下したりしますので、施工開始から完了までの間に塗布面に放水したり、雨天に見舞われることのないよう十分注意して下さい。

### エリアを区切って、後日施工の続きをするような場合

合わせ目となる部分の塗布時は、必ず養生テープを使用して塗布して下さい。

### 通常使用

水洗い後、すぐに使用可能となります。

### 注意事項

- ・ ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上採用下さい。また、実際に施工する前に必ず目立たない部分でテストし、施工面及び周辺部材への影響・仕上り具合をよく確認して下さい。
- ・ 取り扱い中は皮膚に直接触れないようにし、必要に応じて防毒マスク又は送気マスク・保護メガネ・保護手袋・エプロン等を着用して下さい。
- ・ 施工面に汚れや水分が付着したままでの使用は避けて下さい。
- ・ 開封後はできるだけ早く使い切るようにして下さい。やむを得ず発生した在庫品や余った材料は、子供の手の届かない30℃以下の冷暗所に密閉状態で保管して下さい。（品質保持期限：未開封で製造日より3ヵ月間）
- ・ 成分の蒸発などによる製品の変質を避ける為、使用するたびにこまめに蓋をして下さい。
- ・ 施工中および保管時は、本剤に異物（雨・ホコリ・他のリスタコート剤など）が混入しないよう注意して下さい。白濁・変質・品質劣化などの原因となり、リスタコートが本来の機能を果たさなくなる恐れがあります。
- ・ 用途以外には使わないで下さい。
- ・ 材料注文・施工に際して、不明な点がございましたら、必ず弊社までご連絡・御相談ください。 —